

1. まえがき

長崎大学大学院工学研究科総合実践教育研究支援センター活動報告第1号をお届けします。平成23年度は長崎大学工学部の改組がありました。工学部の7つの学科が、工学部工学科の1つとなりました。それに伴って、学部、大学院の基礎共通科目の充実を図る教育が強化されています。センターもこれまで、創造工学センターと安全工学教育センターがまとまって、学部・大学院の基礎教育の充実に向けて役割が重要となりました。これを受けて、両センターが統合し工学研究科総合実践教育研究支援センターとして新たに発足をしました。これまでの、個別の科目での学部教育への協力のほかに、学部・大学院の教務委員会等と協力して、学部・大学院の基礎教育を充実すべく調査、研究等を進めることになりました。

本年度はその最初の年であり、今後への基盤を作る年でもありました。ものづくりではこれまで続けてきた新潟大学と富山大学との3大学のものづくりコンテストを長崎で行いました。今後も3大学で引き続き連携を深めていくこととしました。また、安全工学ではセンターの教員が中心となって出版した本の韓国での出版に関して、韓国大田市の視察団による長崎大学の訪問を受けました。

ようやく、これまでの両センターの努力が見える形で表れてきたと思います。これからは、新しい組織となってこれまでも増して長崎に根差した活動を充実し、工学部の基礎教育と研究に貢献していくことを願っています。

林 秀千人

目 次

1. まえがき	
2. 組織	1
3. 実施報告	
(1) 総合実践教育研究支援センター (PERC) ホームページの開設	2
(2) 工学部学生対象 3D-CAD 講習会の報告	4
(3) 安全工学と工学倫理	7
(4) 教養特別講義「安全安心」を担当	8
(5) 平成 23 年度「高校生公開講座」報告	13
(6) 日本工学教育協会 著作賞受賞の報告	18
(7) 安全工学セミナー	20
(8) 工学フォーラム 2011 科学技術が実現する「安全・安心」社会の参加報告	22
(9) 東日本大震災仮設住宅団地視察レポート	32
(10) 同志社大学教育 G P シンポジウム 学びの原点プロジェクト型教育の挑戦！ －誰が何をいかに評価するのか？－に参加して	37
(11) 社会人対象の 3D サーフェス講習会への協力の報告	40
(12) 産学官連携プロジェクト実習・総合工学演習	42
(13) 平成 23 年度「創成プロジェクト」報告	52
(14) 平成 23 年度「学生ものづくり・アイデア展及び 産学官連携プロジェクト実習合同発表会」報告	63
(15) 韓国大田市訪問団の報告 (安全安心の取組みに関する韓国大田広域市との学術セミナー)	67
(16) リメディアル教育関連事業報告	70
(17) 平成 23 年度技術職員の研修・研鑽に関する 3 大学 (新潟・富山・長崎) 連携活動実績	75
(18) 平成 23 年度第 6 回生産技術室技術研修会報告	77
4. 長崎大学大学院工学研究科総合実践教育研究支援センター内規	81